



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda182号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2017年10月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

| | 全体会 | 新倉ふれあいの森 | 富澤湧水・大坂ふれあいの森 | 樹林公園 |
|-----|--|---------------------|--------------------------|---------------------------|
| 10月 | 11日(水)和光市民大学特別講座 和光市自然環境マップとめぐる 17日(火)白駒池研修会 28日福生市で自然環境マップ紹介 | 21日 定期保全 | 4日 富沢湧水 18日大坂ふれあいの森保全 | 29日 樹林公園 観察会 昆虫探し・森あそび |
| 11月 | 12日 市民祭り 19日 白子コミセン祭り | 18日保全と竹細工 下新倉児童館 | 15日(水)大坂ふれあいの森保全 | |

1. 生物多様性センター発行 平成28年度モニタリングサイト1000里地調査報告書で「白子湧水群における水環境調査」が保全再生の成功事例として取り上げられました

全文紹介 保護地域指定への調査データの活用

埼玉県和光市に位置する一般サイト「白子湧水群 富沢湧水および大坂ふれあいの森」は、和光市と東京都の境を流れる白子川左岸に連なる緑地帯の一部である。武蔵野台地の末端部の特徴を備えた場所であり、緑地の斜面の複数の場所から豊富な湧水が湧き出ているほか、多様な動植物の生育生息する貴重な場所となっている。この場所では、市民団体である和光・緑と湧き水の会が、1999年から精力的に湧水の調査や観察会・研修会などの保全活動を行っている。

和光・緑と湧き水の会では、2012年から里地調査に参加し、植物相及び水環境調査を継続している。2014年度には、会と和光市との協働事業として「和光市湧水環境調査」を実施することができた。また、その調査結果を報告書に取りまとめるとともに、報告会を開催した。その結果、この場所の重要性が広く認識され、2015年12月に「白子宿特別緑地保全地区として保護地域の指定を受けることにつながった。全国規模の調査を継続したことで会のメンバーの自然への理解が深まったことや、モニタリングサイト1000の調査手法や、調査結果をそのまま活用して市との協働事業につながられたこと、また、調査結果をもとに保全作業を継続したことが、この場所の価値が行政や地権者に認められることとなり、今回の保護地域指定に役立ったのではないかと会の方は語っている。



白子湧水群における水環境調査の様子
写真提供 NPO 法人 和光・緑と湧き水の会

2. 大坂ふれあいの森の湿地に適した植物の様子

夏からの長雨で湿地に適した植物が元気です。ミズヒキやボントクタデ、ヤブミョウガ、ジュズダマ、ヤブマメ、ミドリヒメワラビなどが所せましと生育しています。樋からの湧水も増えています。ホトトギスが開花しふれあいの森の秋の植物がそろいました。

環境に適応した植生を皆さんで大切に保全しましょう。(ミズヒキ、ボントクタデ、ホトトギス)



3. お茶の水女子大学地理学巡検 9月26日実施しました

例年6月に行っていた長谷川直子先生の地理学巡検は、今年9月に実施しました。20名の大学生の参加があり、明るい華やかな巡検でした。

一日巡検 都市部の身近な自然と歴史を訪ねて——和光市～成増の湧水・自然環境保全——

和光市には多くの湧水が存在し、また貴重な植物も残されています。これらの湧水や植物を見て回り、これらの環境を保全する当会と一緒に現地を回り、保全活動の様子を伝えます。白子宿の歴史的スポットを回る。貴重な地層が見える露頭、そこから湧水が湧き出ています。3月に市と出版した“和光市自然環境マップ”を利用し、都市周辺で残されている貴重な自然を知ってもらう。

成増——新田坂——白子橋——地福寺——白子宿——富澤湧水（れき層と湧水が湧き出る地層、生活水として利用した様子、湧水組合の古文書、富澤家に伝わる伊賀者の給地古文書）——白子コミセン（昼食、講義：和光市自然環境と会の活動；講師高橋勝緒）——熊野神社、富士塚——大坂ふれあいの森（関東ローム層、東京軽石層、湧き水に関する斜面林の生態系）——白子の滝——解散



地下鉄成増駅集合



白子橋で湧水の流出を見る



富沢湧水路・湧き水の流れを体感



れき層と粘土層の境からの湧き水 コミセンで“マップで学ぶ”



長谷川先生のお話

長谷川先生からは、環境保全団体としての特徴は、行政と対立することなく、地域にも受け入れられた活動を継続し、湧水の保全が進んできている点で、当会の行政や地域に友好的な活動が特徴的であるとの評価が得られました。巡検中にも、熊野神社に立ち寄り、地域の方々との交流に触れることができました。調査から保全を主体に常に地権者の了解を得た活動が、地権者の湧水や自然環境への理解が進むきっかけとなり、特別緑地保全地区指定につながったと思われます。白子地域に昔からあり大切な湧水を中心とした環境を、調べ、地域にあった保全をし、地域の人とともに活用していく会の活動を高く評価していただきました。

地理学巡検も地域の方々に受け入れられてきています。これからも身近な自然を学ぶ手助けをしていきたいと思います。

